

Letter for Members

【コンテンツ】

●支部学術大会報告……………	139
—西関東— ……………	139
—関越、東関東— ……………	140

平成21年度 支部学術大会報告

九州、東北・北海道、関西、中国・四国、東京、東海各支部の報告は前号をご覧ください

●西関東支部学術大会

平成22年1月10日(日)パシフィコ横浜2階アネックスホールにて、神奈川県歯科医師会会長・高橋紀樹先生を大会長、鶴見大学歯学部歯科補綴学第二講座・福島俊士教授を大会実行委員長として、平成21年度西関東支部総会ならびに学術大会が開催されました。また同時に、神奈川県歯科医師会第8回学術大会も併催されました。

一般演題9題、ポスター発表4題、専門医申請ケースプレゼンテーション3題に加え、生涯学習公開セミナーに「インプラント治療のトラブルと対策—失敗しないインプラント治療のための留意点—」として東京医科歯科大学の春日井昇平先生の非常に興味深いご講演がありました。午後からはシンポジウム「スプリント治療」があり、横須賀市開業の杉山義祥先生が「健康はスポーツから・スポーツは歯から」、神奈川歯科大学の玉置勝司教授が「顎関節症への応用」、鶴見大学の重田優子先生が「睡眠時無呼吸症候群への応用」と題し、スプリント治療の3方面から臨床的なお話がありました。また市民フォーラムには、俳優の金田賢一さんから「言葉は優しく美しく響きよく」というご講演をいただきました。

学会当日は横浜デンタルショーも開催され、一日中盛りたくさんの賑やかな学会となりました。

(鶴見大 高山慈子)



春日井昇平先生の生涯学習公開セミナー



専門医申請ケースプレゼンテーションの様相

支部学術大会報告

● 関越支部学術大会

平成 21 年度関越支部学術大会・総会は、魚島勝美教授(新潟大学医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野)を大会長として、平成 22 年 1 月 30 日(土)に群馬県高崎市のビエント高崎にて開催致しました。関越支部では新潟、群馬、栃木の 3 県で順番に大会が開催されますが、今回も前回(平成 17 年度)同様に群馬県歯科医学会との共催で行われました。13 題の一般演題では、インプラントの基礎、臨床に関するもの、歯冠修復材料としてのジルコニアセラミックスに関するもの、顎補綴に関するもの、学生教育に関するものなど多岐にわたる発表がなされました。また、専門医申請のためのケースプレゼンテーションでは 2 題の発表があり、厳正な審査が行われました。

平成 21 年度関越支部総会の後、午後開かれた生涯学習公開セミナーでは、現在大阪市でご開業されている高永和先生を講師としてお迎えし、ご専門の歯科金属アレルギーに関して「歯科金属アレルギー治療は簡単か? むずかしいか?」というタイトルでご講演いただきました。



高 永和先生による生涯学習公開セミナー

た。歯科金属アレルギーによる疾患、発症機序、治療法、治療における問題点などについて、豊富な臨床経験に裏打ちされた大変興味深いお話を聞かせていただくことができました。歯科材料とは極めて関わりの深い我々の領域では、適用された材料に対して生体がどのような反応を示すのかは、常に念頭に置いておかなければなりません。この点でも大変有意義でした。

今回の学術大会では例年に比べて参加者も多く、活発な討議がなされたようです。なお、何かとご協力を賜りました群馬県歯科医学会の諸先生方には誌面をお借りしてここで改めて御礼申し上げます。(新潟大 富塚 健)

● 東関東支部学術大会

平成 22 年 2 月 14 日に浦和ロイヤルパインズホテルにて、平成 21 年度埼玉県歯科医学大会との共催で、明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野・藤澤政紀教授大会長のもと、平成 21 年度 社団法人日本補綴歯科学会東関東支部総会・第 13 回学術大会が開催されました。一般口演 11 演題、専門医申請ケースプレゼンテーション 6 演題が発表されました。参加者は計 251 名で、その内学会会員 169 名、埼玉県歯科医師会会員 82 名でした。同日には、生涯学習公開セミナーとして、大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔科学専攻顎口腔機能再建学講座・中村隆志准教授を講師にお迎えして、『オールセラミック修復における現状とこれから』という題名で、最新のセラミック修復の物性に関する研究データ、CAD/CAM の解説、それらを用いた臨床例を詳細に講演いただきました。また、東京歯科大学市川総合病院副院長、東京歯科大学口腔がんセンター長・山根源之教授、コメディアン・俳優のケーシー



中村隆志先生による生涯学習公開セミナー



会場の様子

高峰氏を講師としてお迎えし、彩歯健康アカデミーによる市民フォーラム、「『口腔がん』ってどんなもの?」も併催されました。口腔がんに関して、市民にとってわかりやすい講演内容でした。短い時間ながらも充実した内容となり、参加者にとって非常に実りの多い大会となりました。(東歯大 山田将博)